

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
(旧 名古屋第二赤十字病院)で
診療を受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	腎移植患者における副甲状腺摘出術後の腎機能変化に関する後向き研究		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2025年3月31日		
研究実施診療科	移植内分泌外科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2023年12月11日	
	院長が研究実施を許可した日	2023年12月12日	
対象となる方	(西暦)2004年1月1日～(西暦)2023年12月31日に、当院移植内分泌外科において、副甲状腺摘出術を受けた腎移植後の方		
研究責任者	所属	移植内分泌外科	氏名 岡田学
研究の意義	腎移植患者さんで、副甲状腺機能亢進症という病態に対して副甲状腺摘出という手術が必要になることがあります。 副甲状腺摘出術は有効な治療法ですが、術後に血清クレアチニン値が上昇する、つまり腎機能が悪化することがあります。 本研究を通して、腎移植患者における副甲状腺摘出術後の腎機能変化のリスク因子を明らかにします。これにより、腎移植後も副甲状腺機能亢進症の治療選択や、管理方法の改善に貢献出来る可能性があります。		
研究の目的	腎移植患者における副甲状腺摘出術後の腎機能変化のリスク因子を明らかにします。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。(年齢、性別等の基本情報、基礎疾患、治療歴、使用している薬、血液検査の結果、摘出した副甲状腺の情報、手術の情報、等)		
結果の公表	関連学会等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を		

	付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究の資金は内分泌外科の研究費を使用します。外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植内分泌外科 岡田学 電話 052-832-1121 (代表)